

1 学校経営の基本方針と重点事項

(1) こんな高森東学園教職員集団に

～ 一人一人の個性が生かされ、
組織体として一致団結できる学校 ～
「誰もがかがやく、全員でかがやく！」学校

組織で動くとは、「全員で、(右の作品のような)一つの美しい『彩り』をつくりあげていくこと」に似ていると考える。

(※右は、本校児童生徒が、図工、美術の時間に取り組み、各自が作成したパネルをつなぎ合わせて完成させた作品である。)

令和元年度「高森町七夕
湧水トンネル祭」最優秀作品



① 【美しい「彩り」の条件(i)】

美しい「彩り」は、いろんな色、たくさん色があり、それぞれの色が輝くことで、できあがる。全部が同じ色では、美しい「彩り」はできない。多様な色合いがちりばめられることで、美しい「彩り」ができあがる。

- 先生たち一人一人が個性を発揮すること
- いろんな専門性・特技・長所・深めてきた校務分掌などを発揮し合うこと

② 【美しい「彩り」の条件(ii)】

美しい「彩り」は、お互いが、しっかりつながり合うことで、できあがる。一つ一つがどんなに輝いても、ばらばらであつたらそれぞれの輝きもかすんでしまう。一つにつながってこそ、それぞれがお互いを輝かせ合い、美しい「彩り」ができあがる。

- 皆が、つながり合い、一つになって同じ方向を向いて動くこと
- 特技を生かし合い、苦手なこと・弱点(弱み)を補い合うこと

③ 【美しい「彩り」をつくりあげるための、リーダー(校長)の役割】

つくりあげるべき美しい「彩り」を放つ作品の構想(学校教育目標)を定め、完成(目標達成)までの見通しについて共通理解を図る。そして、全体の調整を行いながら作成を推し進め、仕上がった作品の最終確認をする。

- 方向性を定め、先生たち一人一人がしっかり輝ける環境を整えること
- 先生たち一人一人の輝きを發揮してもらう役割を考えること
- それぞれの先生たちの動きに常に目配り気配りをし、各自の意見・アイデアを生かしながら、報告・連絡・相談を受け、併せて指示・援助をすること
- 先生たち一人一人の仕事(色)に光を当て、さらに輝きを際立たせること

そうして、仕事を進めながら、先生たち一人一人の輝きがますます大きくなって(教師としての力量が向上して)いき、個々のつながりが深まって(一体感が増して)いく職場(学校)としていくこと、これが最も大切な役目と考える。

その中で、決して忘れてはならないのは、もちろん「子どもたちのために」という視点である。学校の主役は子どもたちであって、先生たちの輝きは、子どもたちのために發揮すべきものである。その原則は、絶対に忘れてはならない。

一人一人の配色にずれがでたり、本来のねらいとは違う色が入ると、全体の「彩り」が全部台無しになることもある。台無しとはいかなくても、美しさが損なわれていってしまう(子どもたちのための教育効果が低減してしまう。)

だから、各自がバラバラで動いたり、全体の動きを乱す（「彩り」を損なう）ような、勝手なことをしてはならない。それが、組織で動くということであり、その指揮・監督役が校長（管理職）だと思っている。

この作品のように「誰もがかがやく、全員でかがやく！」学校づくりを目指しながら、「高森東学園義務教育学校組織体」として、全職員で教育活動を展開し、保護者や地域からさらに信頼される学校を創っていきたい。

（２）経営の基本方針

- 4(S)・3(M)・2(L)のブロック制と、ブロック間交流による小中一貫教育を推進する。
- コミュニティ・スクールとしての基盤を強化し、地域とともにある学校づくりを進める中で、自分や地域を誇りに思う気持ちを育み、心がつながり合った仲間と共に「夢」や「目標」に向けて自己実現を目指し、社会に貢献しようとする意欲をもった児童生徒を育成する。

教育とは、児童生徒に変容をもたらすものであり、その過程で我々教職員自体の変容を伴うことも多い。児童生徒に目を向け、現状を真剣に分析し、そして、自分自身の現状にも目を向けながら、目指す児童生徒像に向けて真摯な姿勢で教育活動を進めていきたい。

（３）高森町「新教育プラン」より

高森町教育目標

人間尊重の精神を基底におき、「高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育」をスローガンに「コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育」を重点施策として、未来を切り拓く「生きる力」を身につけた高森の子どもを育成する。

- ① 保護者や地域との連携を一層深めるとともに、第3次高森町新教育プランの実現に向けて、社会に開かれた教育課程を基盤として、これまで築き上げてきた義務教育学校の特色を生かした小中一貫教育を推進する。
- ② 教職員の個性（個々の輝き）とつながり（信頼関係）を重視し、児童生徒一人一人にしっかりと寄り添い、一人一人を大切にした教育を推進する。
- ③ 児童生徒に対する深い教育的愛情に基づく「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育を実践することで、児童生徒の自尊感情や自己有用感を高める。そして、児童生徒同士の心のつながりを強めることで、お互いがお互いを必要とし合う関係を築きながら、児童生徒同士の育ち合いを推進する。
- ④ 児童生徒一人一人が夢や目標に向けて、自己の能力を最大限発揮できるよう、創意工夫した教育活動を展開する。さらに、個々がお互いにしっかりとつながり合いながら、切磋琢磨し合い全員でかがやこうとする豊かな感性を育む。
そこで、学校テーマを「全員でかがやく！」とする。
- ⑤ 教育公務員としての使命と責任を自覚し、全職員の総力を結集して、教育課題を解決し、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。その大前提として、不祥事は絶対に出さない。

(4) 校訓

ふるさとへの誇りを胸に、自らの夢をかなえよ！
With pride for Takamorihashi, make your dreams come true!

(5) 学校教育目標

誇り高く、夢大きく、心つながり合える児童生徒の育成

- ① 地域に誇りを持ち、自分自身に誇りを持った生き方ができ、大きな夢を抱き、人と心からつながろうとすることができる（他者を尊敬できる）。そして、その心がつながり合った仲間とともに、切磋琢磨しながら夢に向かって挑戦し続け、全員で輝こうとする豊かな感性をもった児童生徒の育成を目指したい。
【「誰もがかがやく、全員でかがやく！」学校づくりを目指す。】
- ② 本校の子どもたち同士の「心をつながり」を強めたいということと、併せて、将来的に、いろんな人たちとも「心をつながり」をつくっていこうとすることができる人（他者を尊敬することができる人）になることを目指したい。
- ③ 人は一人では生きていけないし、生きていくうえでは、お互いに必要とし合い、生かし合う関係が必ず必要になってくる。それが実現できている関係が「心がつながり合っている」状態と捉える。そのように、心がつながり合っていれば、本当の信頼関係につながると思う。集団全体の心がつながり合っていれば、本当の安心感が生まれ、それが【安心・安全な学校づくり】につながっていくと考える。
- ④ 子ども同士の「つながり」をつくるためには、その前提として教職員同士の深い「つながり」が築かれていなければならない。我々教職員は、「教育は人なり」という言葉の胸に刻み、子どもたちの模範となり、教育効果を一段と高めるためにも、職員同士のつながりをさらに深めていきたい。

(6) 目指す学校像・児童生徒像・教職員像

【目指す学校像】

「誰一人取り残すことのない、誰もがかがやく、全員でかがやく！」学校

- ☐ 一人一人の考えが響き合い、高め合いのある学校
- ☐ 一人一人に居場所があり、元気なあいさつが響き渡る学校
- ☐ 一人一人が大切にされ、安心・安全に過ごすことができる学校
- ☐ 地域とともにあり、地域を元気にする学校

- ☐ 学校は学習の場である。児童生徒に「生きる力」を身に付けさせるという高森町教育目標の達成を目指して、「主体的・対話的で深い学び」を実現させるために、一人一人の児童生徒が自信を持って自分の考えを発表し合い、お互いに学び合い、高め合う学校でありたい。
- ☐ 「人権を尊重する」とは、相手を認めることから始まる。「あいさつ」は相手を認めることの始まりである。従って、1日の人権の始まりは、朝の「おはようございます。」のあいさつである。ここから相手を認め、相手に敬意を表すことが生まれる。児童生徒だけでなく、職員自らその手本となり、お互いを尊敬し合う「あいさつ」の響き渡る学校でありたい。

- 学校は、児童生徒の命を預かり、守り育てるところである。従って、安全・安心がなければ学校は成り立たない。児童生徒一人一人が大切にされ、安心して伸び伸びと自分の可能性を発揮できる学校でありたい。
- 学校は地域の宝であり、地域とともにある。地域の教育力を最大限に生かすとともに、地域に貢献し、社会に貢献しようという意欲をもった児童生徒を育成したい。

【目指す児童生徒像】

- | | |
|---|---------|
| ○ 自ら学び、考える児童生徒
[気付く力、伝える力] | (考える) |
| ○ 人権感覚に満ち、思いやりの心を持った児童生徒
[受容する力、つながる力] | (思いやる) |
| ○ たくましく、元気な児童生徒
[自らを律する力、粘り強さ] | (元気な) |
| ○ 地域を誇る児童生徒 | (地域を誇る) |

※ [] 内は、重点的に育成を目指す資質・能力

【目指す教職員像】

- | |
|----------------------------------|
| ○ 教育的愛情に溢れ、児童の思いに触れることのできる教職員集団 |
| ○ 教師としての誇りをもち、絶えず研修に励む教職員集団 |
| ○ お互いを尊敬し合い、共通行動できる教職員集団 |
| ※ 本校教育の「彩り」をつくっていく組織の一員としての自覚と責任 |

(7) 学校テーマ (ミッション)

**誰一人取り残すことのない、
誰もがかがやく、全員でかがやく学校づくり**

全児童生徒・全職員で協力し合いながら、「誰一人取り残すことのない、誰もがかがやく、全員でかがやく！」学校づくりを目指す。

- | |
|---|
| ○児童生徒：自分自身の「夢」や「目標」に向けて、仲間と切磋琢磨し合いながら挑戦し続け、全員でかがやく！ |
| ○保護者：P T A活動への更なる挑戦、一致協力して、全員でかがやく！ |
| ○教職員：個性を発揮し、信頼関係で結ばれ、全員でかがやく！ |

これから先の社会を生きる子どもたちには、変化の激しい時代を生き抜くための資質・能力を育むことが強く求められている。そのような社会においては、課題解決に向けて意欲的に取り組む態度や、他者と協働しながら課題解決を図っていく力を身に付けさせていく必要がある。義務教育学校の良さを生かした、特色ある教育活動を通して、将来を見据えた資質・能力の育成を図りたい。